



Chartered April 11.1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo  
 Mail : [syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp](mailto:syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp) Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN  
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

## 主 題

- 国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Finn A Pederseon "To dare is to do"  
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」  
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"  
 西日本区理事 「ワイズの原点 愛と奉仕で社会に貢献」  
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community  
 through Active Service with Love"  
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」  
 森 紘一  
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」  
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

- 会 長 都筑省三  
 直前会長 桑野友子  
 副 会 長 堤 清 島田 恒  
 書 記 堀江哲次 柏原佳子  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 上野恭男 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

3

March 2012  
 第 178 号

## 今月の聖句

「そして、稲妻、さまざまな音、雷が起こり、また大きな地震が起きた。それは、人間が地上に現れて以来、いまだかつてなかったほどの大地震であった。」  
 ヨハネ黙示録 16:18

## 3月第1例会プログラム

- と き： 2012年3月21日(水) 19:00～21:00  
 と ころ： ホテル竹園芦屋 3階  
 司 会： 堀江哲次メン  
 受 付： 羽太英樹メン・中野雅弘メン
1. 開会点鐘 都筑省三会長
  2. クラブソング斉唱 一同
  3. 聖書朗読 羽太英樹メン
  4. ゲスト・ピジター紹介 司会
  5. 食前感謝 加輪上敏彦メン
  6. 食事・歓談
  7. 「藤川晃成氏入会式」 司会 上野恭男メン  
 立会い 森紘一六甲部長 都筑省三会長  
 スポンサー 羽太メン
  8. 藤川晃成メン挨拶
  9. メンバーズ・スピーチ 加輪上敏彦メン  
 「チェンマイ、ロングステイのお奨め」
  10. 第2例会議事録の承認 都筑省三会長
  11. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事
  12. 誕生祝い 都筑省三会長
  13. 閉会点鐘 都筑省三会長

## ファンド事業の意義を再認識しよう・・・

福原 吉孝  
 ファンド事業の意義を紙面を借りて再確認をしておきたい。  
 BF：使用済み切手を換金して公式参加の費用に充てるファンドである。目標はUS \$ 15. - /1人(切手換金を含む)。  
 EF：信託基金 国際ワイズ運動の発展の為に財政強化を目指す基金であり、個人やクラブの記念行事、個人の慶弔などに対しUS \$ 120. - 以上の献金は、寄付者名、寄付理由が、国際ワイズが永久保存する「ゴールデンブック」に記載され、又US \$ 1,000. - の献金者には「オナロール」としてクリスタルの盾がネーム入りで贈られる大変名誉ある基金である。  
 JWFF：西日本ワイズ活動を支える基金で全会員の拠出金、国際からの還付金が礎となっており、1口 ¥5000以上。  
 ファンド事業方針を確認するとBFが大変重要なファンドとして位置づけられている。  
 BFは国際での重要性を訴えており、\$ 15.-/1人を達成した全クラブに100%達成賞、1人当たりの金額上位10クラブが上位表彰される。切手の使用が減少傾向にあるが、使用済み切手の収集はワイズ活動の原点でありよく再認識しなければならない。芦屋クラブでは、現在2kgの使用済み切手が収集されており、IBCを締結しているエチユカクラブ代表の訪問時に交換した切手も1kgある。今後のあり方を含めこの機会によく検討しなければならない。  
 その他に芦屋クラブの重要なジャガイモファンドがある。ジャガイモファンドも上野メンの計らいでジャガイモ種類が増え順調に推移している。この様に色々なファンドが展開されている。芦屋クラブのメンバー各位におかれましては、ファンド事業の現況を再認識して頂き、さらなるご協力をお願いしておきたい。

## 2月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	10名	出席者	10名	0gm (28gm)
ピジター	0名	メイクアップ	3名	
ゲスト	1名	合 計	16名	
メネット	0名	在籍者	17名	ニコニコ (累計)
合 計	11名	(内広義会員1名)		7,331円(121,192円)
		出席率	81.3%	

## 2月第1例会報告

井上雅司

日時:2月15日(水)19時~21時

場所:ホテル竹園芦屋

司会:井上雅司

(敬称略)

出席者:飯田、井上、柏原、桑野、島田、都筑、羽太、福原、渡辺、藤田連絡主事(10名)

ゲスト:藤田美優(YMCA余島リーダー)

2月はTOF(タイム・オブ・ファースト=断食の時)例会です。都筑会長の開会点鐘で始められた例会は、羽太英樹メンから今月の例会にふさわしい聖句「わたしの選ぶ断食とはこれではないか・・・」(イザヤ書58:6-7)の朗読と上野恭男メンの今月ブリテンの巻頭言「TOF月間にあたって」の紹介があり、TOF月間のもつ意味を再確認しました。

飯田義雄メンの食前感謝後、TOF月間としては多少贅沢かも知れませんが、「ホテル竹園芦屋」自慢のカレーライスが、去年はサンドイッチでした、テーブルに運ばれ、皆さん今日はアルコールを一滴も口にせず食事を終えました。

今月は次年度の芦屋クラブ役員・事業委員の選出という重要な、併せて、飯田次期六甲部部長のもとでの役員紹介という例会でしたが、出席が少なくやや寂しい感がありました。しかしながら、本年3月10日から2週間の予定でタイ・ワークキャンプに参加するYMCA余島リーダーの藤田美優さんの発表(詳細別掲)にふれ、いつもながらYMCAリーダーのタイ・ワークキャンプ参加に対する思いに感動しました。

続いて島田恒次期会長から次年度の役員・事業委員選出の考え方と次期会長として芦屋クラブの重点活動構想についての説明がありました。

役員・事業委員については、ボランティア団体の活動が

1)自主、2)無報酬、3)公益性を原点に、活動は赤字でもご自身の人生にとって大変な黒字となる。ワイズへの貢献のために役員・委員は上記の原則に則り自主的な手挙げ方式によって決定したいとし、今回まで決定を見ていない役員・委員について話し合いがもたれ調整が行われました。

次に次年度の重点活動構想は、外部への発信と貢献をあげ、クリスマス例会の芦屋市民の参加、芦屋市民を対象とした講演会の開催など具体的な例として紹介されました。併せてYMCAの存在意義について、現在の社会で先頭に立つべき組織であると言及されました。続いて飯田義雄次期六甲部部長から芦屋クラブ選出の役員、書記:柏原佳子ウイメン、会計:桑野友子ウイメン、事務局:上野恭男メンの紹介がありました。

この後、連絡事項の報告とニコニコ献金6,200円の報告があり、定刻21時に閉会となりました。

### 第29回タイワークキャンプへ向けて

余島リーダー会1回生 藤田 美優

今年のワークキャンプでは、チェンライ県にある学校に学習センターを建設します。この学習センターは非化学農業・自然保

護について生徒はもちろん、村の誰もが学べる場となることを目的としています。子供たちが「行きたい!」と思えるような学習センターを作りたいですし、村の人々のコミュニティの場となれば嬉しいのです。

今回のキャンプはキャンパー6名、引率ディレクター1名で参加します。

皆それぞれに今回のキャンプに対する思いをもっています。

私がこのワークキャンプに参加したいと思ったきっかけは、YMCAの活動を通して感じた人との出会いの大切さ、コミュニケーションをとることの楽しさが大きいと思います。

もっと色々な人に出会いたい!話したい!色々なことを知りたいたい!感じたい!学びたい!そういう気持ちでいっぱいです。その気持ちを大切にタイでの2週間を過ごしたいと思います。短い期間ですが、タイ、ラオスのキャンパーと現地の方と一緒に楽しいキャンプをつくっていききたいと思います。



### 第4回 神戸YMCA・コミュニカ学院 日本語スピーチコンテスト 拝聴して

加輪上敏彦

昨年同様、期待にたがわぬ面白いスピーチが、沢山ありました。"これは関西弁やねん" "お会計のとき、別々にはらう?" "すごい" などの題でした。

今年の交流会に来た留学生では、劉君(中国)、又昨年度のKAKOUさん(コートジボアール)が熱弁をふるいました。



16名中、KAKOUさんが、審査員特別賞を取りました。たった3か月でこんなに日本語がしゃべれるのかと、感心した学生もいました。若い外国人が日本に日本語を学びに来て、文化の違いを痛感し、それぞれの文化の長所欠点を肌で感じる、またそれを日本語でしゃべるとゆうこと。我々日本人が聞いていて感じることも多いスピーチコンテストでした。

来年はもっと多くで聴きましょう。他クラブにも呼びかけましょう。

参加者 都筑省三会長、柏原佳子さん、桑野友子さん、堀江哲次さん 加輪上敏彦 でした。

## YMCA午餐会に参加しました

柏原佳子

2月19日、午餐会に桑野ウイメン、柏原の2名で参加しました。講師は、盛岡YMCA宮古ボランティアセンター所長・池田勝一さんで、大阪YMCA時代から熱い心と行動力の伴われた方だと思っておりました。



芦屋クラブ11月例会・研修会で、神戸YMCAボランティアリーダーの西崎さんが被災地報告をされ、池田勝一さんのお名前をだされて初めて現地での活躍を知りました。

お話は、全国からのボランティアをコーディネートされ、「桃太郎さん」と愛称で親しまれたこと、そして、心がけてきたことは

出会いは握手から 違いを把握し受け止める  
こちらを支えられている 待つのではなく探す、

の4つのことだと話されます。

YMCAで長年積み重ねられた経験を生かし、心のケアを大切にされ、仮設住宅でのペタン餅つき、体育館での「ジャンケン自己紹介」など常に前向きな姿勢で活動されたそうです。あの人はダメ！と固有名詞で呼ぶことは避ける、継続は力と考へ結果を求めない、限界を知ることなどなど、現地での経験を通して話される言葉は全てズシリと胸に響きます。

お話の中で、宮古ボランティアセンターへ芦屋クラブから贈られた冷蔵庫は有難かったです、とお礼を言われたことをお伝えいたします。

## 六甲部会長(現・次期)・総主事懇談会

都筑省三

ワイズ六甲部8クラブの会長(現・次期)と水野総主事との恒例の懇談会が2月29日(水)午後6時半から8時半、森六甲部会長も出席され神戸YMCAで開催されました。

出席予定の飯田次期六甲部長は風邪のため欠席されました。芦屋クラブからは島田次期会長と私が出席しました。7クラブから13名の参加がありました。

さんだクラブは欠席でした。まず総主事から125年記念事業の感謝がありレジメに従って4項目について説明がありました。

第1はタイワークキャンプについての説明と今年の支援について協力要請でした。

第2は神戸YMCAの2012年度年間行事予定とワイズの支援依頼の内容の説明がありました。現在予定されている13の行事の説明と、その中の次の行事については各クラブで予算に計上して欲しいとの要望がありました。

5月20日(日)ボランティアリーダー委嘱式の昼食費の補助(10,000円)、10月6日全国リーダー研修会参加費(20,000円)、12月14日(金)神戸市民クリスマス(5,000円)、来年の3月1日

(金)スピーチコンテスト補助金(5,000円)、3月中旬のタイワークキャンプ(10万円・上限)で、その他は出席依頼と協働の依頼です。

第3はホームページについてYMCAの担当者(功刀正士氏)からの確認依頼の事項の説明がありました。第4は2012年度の各クラブの連絡主事の案内でした。以上で説明は終わりその後、出席者の自己紹介と意見交換がありました。会員の増強、ワイズ、YMCAのあり方等々いろいろ活発な発言があり、こうした機会を増やしてほしいという意見もありよい話し合いができました。8時終了の予定が8時半に散会しました。



## 藤川晃成(ふじかわ てるみち)氏プロフィール



1945年3月4日 広島県・江田島で出生。

小学校から高校まで大阪で過ごす。

1969年北海道大学医学部卒業。淀川キリスト教病院、住友病院、東京女子医大、都立広尾病院を経て、2005年淀川キリスト教病院(呼吸器内科)を60歳定年退職。その後尼崎市の立花病院、箕面市のガラシア病院でホスピス医を5年間務め、2010年から西宮笹生病院内科、2011年から尼崎市の長尾クリニック(訪問診療・外来)に従事中。2012年4月から、西宮協和マリナホスピタルの緩和ケア科(病棟・在宅)所属予定。

妻と独身の息子・娘の4人家族。息子(テノール、バリトン)・娘(ソプラノ)は音楽修行中。趣味は読書、囲碁、旅行、ボランティア。

所属: 芦屋浜教会員、JCMA全国委員、JOCS社員、日本緩和医療学会(暫定指導医)、日本スピリチュアルケア学会(評議員)、兵庫生と死を考える会(理事)。

## 2月第2例会・議事録

日時: 2月22日(水) 19:00~21:00

場所: 市民会館 206室

出席者: 飯田、上野、柏原、桑野、島田、都筑、羽太、藤田、福原、堀江、(10名)

### < 報告・協議・確認事項 >

#### 1) 芦屋クラブ 例会

3月第1例会: 3月21日(水) ホテル竹園 3F

藤川晃成氏の入会式:

メンバーズスピーチ: 加輪上メン

第2例会: 3月28日(水) 市民会館 別館212号室

#### 2) 会計報告

羽太メンより1月の会計報告があり、承認。

#### 3) 次期クラブ役員 & 事業委員最終決定

島田次期会長よりの資料に従って説明、決定。

#### 4) その他

みどり作業所: 新館完成につき10万円をお祝いとして贈呈を決定。3月第1例会で会長から募金をお願いする。水墨画の贈呈については加輪上メンが、新館完成後、別途適當時期を判断する。

飯田次期六甲部長から六甲部関連の今後の行事予定につき報告があった。

3月10、11日 次期会長、主査研修会で部長方針を会長、主査に説明

3月17日 第2回評議会で次期の予定などを説明

5月19日 準備評議会

9月8日 六甲部会

堀江哲次

### YMCA ニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

#### 公益財団法人理事会、開催

去る1月25日(水)に公益財団法人の理事会が開催され、新年度の事業方針や予算、年間行事予定などが協議され、その方向が確認されました。次年度の組織変更については大きな変更はありません。

#### 第137回全国YMCA総主事会議報告

##### < 国際関係 >

・東日本大震災募金の影響で、通常の国際協力募金が大幅に減っている。国際協力事業へのアピールと工夫をお願いしたい。

・世界YMCA同盟は、2012年10月13日(土)を「YMCAワールドチャレンジ」の日とし、全世界のYMCAで目標500万人のユースの参加を呼びかけている。

・「核兵器廃絶」に向けたキャンペーン、3年前の「YES キャンペーン」に続いて「プロジェクト NOW!」キャンペーンを行なう。そのための書籍を販売する。

##### < 東日本大震災支援関係 >

・2012年度も仙台、宮古を中心に、また東京YMCAが設置した石巻VCを加えて支援活動を継続する。そのためには約5,000万円の募金が必要で、各YMCAでも募金活動を強化する。

##### < その他 >

・2012年度は、大阪YMCAが130周年、名古屋YMCA・長崎YMCAが110周年、奈良YMCA・沖縄YMCAが50周年、埼玉YMCAが40周年、和歌山YMCAが20周年を迎えられます。

##### 盛岡YMCA 宮古ボランティアセンター(VC)訪問

去る1月20日(金)から22日(日)までの3日間、武田寿子会長、中尾秀一国際委員長、小寺隆志主事(三宮ランチ)と水野雄二総主事の4人が、東日本大震災の被災地視察を目的に岩手県を訪ねました。自然の脅威に対して、寡黙に立ち向かっている方、なぜ自分たちがこのような目にあうのかとやるせないため息を漏らす老婦など、何人かの方々と触れ合い、お話を伺うことができました。神戸YMCAは仙台YMCAを中心とした支援活動を続けていますが、昨年10月以来、宮古VCにも応援ボランティアを派遣しており、今後も継続できればと願っています。

#### 今後の予定

イースター早天礼拝

イースター礼拝を神戸YWCAの皆さんと一緒に開催します。是非、ご出席ください。

日時: 4月8日(日) 午前7:00~8:30

場所: 神戸東遊園地(神戸市役所南)

\*雨天は神戸YMCA

説教: 芹野 創牧師(日本基督教団甲南教会)

\*西宮地域では甲東教会にて開催されます。(予定)

)ユースプラザKOBЕ・EAST 開所4周年記念コンサート

日時: 3月24日(土) 15:00~16:30

場所: ユースプラザKOBЕ・EAST

出演: 神戸市立六甲アイランド高等学校吹奏楽部

神大附属中等教育学校コーラス部

#### 編集後記:

3月に入ってようやく少し春の気配です。2月から3月にかけてYMCA午餐会、現・新クラブ会長とYMCA総主事懇談会、留学生スピーチコンテストなどのいろいろな行事がありました。出席された方々に感謝です。 堀江哲次